



入場
無料

60年前、世界150都市を巡り、核兵器廃絶を訴えた被爆者たちの軌跡。

広島・長崎 世界平和巡礼60周年 記念パネル展

日時

2024年4月7日(日)～4月14日(日)
午前9時30分～午後10時
(初日午後1時から / 最終日午後4時まで)

場所

合人社ウエンディひと・まちプラザ 南棟1階ロビー
(まちづくり市民交流プラザ) 広島市中区袋町6番36号

ギャラリートーク

お聴き逃しなく!

巡礼に参加した被爆者が語る、「当時」と「今」。

4月13日(土) 午前10時～ 阿部静子さん
4月14日(日) 午後 2時～ 森下弘さん

1964年、広島・長崎の被爆者25名を中心として、世界平和巡礼団一行は、四月半ばから七月まで、長崎、兵衛保、有国を含む八か国、150都市を訪れ、被爆者の実地を伝えるとともに核兵器廃絶と世界の平和を訴え、各地で大きな反響を巻き起こしました。巡礼団の資金は乏しく、その道程は決して平坦なものではありませんでした。だが、被爆者自らが世界の人人々に訴えたいという、それではなかつた画期的なプロジェクトの持つ意味は、計り知れないものとなりました。この巡礼団の発案者・推進者こそ、現在の「ワールド・フレンドシップ・センター」の礎を築いた、平和運動家バーバラ・レイノルズさんその人でした。

本展は、六〇年間ひっそりと眠っていた平和巡礼団の「記憶と記録」アーカイブズに再び光を当てながら、今日の危機的な世界情勢において、「広島ができること、何か」を、みなさんとともに考えたいと企画したものです。ぜひ、お立ち寄りください。



お問い合わせ (WFC)
office@wfchiroshima.org
082-503-3191
www.wfchiroshima.org



主催: 特定非営利活動法人ワールド・フレンドシップ・センター(WFC)
後援: 中国新聞社